

「遊友絆の森」が定例活動を実施しました！

令和4年10月23日（日曜日）、周南市鹿野^{みたけ}金峰の「遊友^{ゆうゆうきずな}絆^{もり}の森」に会員13人が集まり、第3回目の定例活動を行いました。

「遊友絆の森」は、平成13年に実施された里山体験交流活動実践事業を契機に、鹿野の里山林を整備・活用しながら、地元住民と都市住民の交流を促進していくことを目的に設立されたグループです。

活動当日の午前中は、絆の森の中にあるシイタケ原木の環境整備活動を行いました。シイタケの発生がよくなるようにシイタケの原木の上下をひっくり返す「天地がえし」という作業です。かなり重いシイタケ原木を持ち上げることに苦戦しつつも、午前中に無事、作業を終了しました。

昼食をはさんで、午後からは、会員みんなで「竹の杖づくり」を行い、この日の活動を終了しました。

「遊友絆の森」では、今後もこのような活動を継続して実施し、都市との交流をさらに深めていきたいとしています。



しいたけ原木の環境整備活動



記念撮影